中高一貫校における生徒支援体制の運営に関する実践的研究

高知学芸中学高等学校　教諭　坂本雅代

　A校は中高一貫の進学校であるが、時代の流れと共に、不登校や発達障害のある生徒など様々な困難を抱える生徒が増えてきた。そこで、平成24年度からは学校に校内支援委員会を設置し、生徒を支える支援体制をスタートさせた。定例支援会議をはじめチーム支援会など、SCとも連携を取りながら生徒・保護者・教員のサポート体制の充実を図るようコーディネーター役として運営にあたってきたが、なかなか思うように進められないなど、困難にぶつかることも少なくなかった。

中高の校種の違いや生徒の発達段階の違いなどを踏まえ、それぞれの実態に合ったより実効性のある生徒、保護者、担任への支援を実現するためにどのような取組をしていけばいいのか、１年間、実践的研究を行った。

キーワード：コーディネーター、校内支援委員会、定例支援会議、チーム支援会